

## 平成 26 年度小児在宅医療連携拠点事業 医療機関 MSW と相談支援専門員つながろう会事業案内

### 事業背景

高度な医療機器を使用しながら、自宅で療養する子どもが年々増加しています。また、平成 24 年に厚生労働省は、平成 27 年 3 月末までに障害福祉サービスを利用する全ての障害児者に対しサービス等利用計画（障害児支援利用計画）を相談支援専門員が作成することを目標としており、市町村が障害児者に対して障害福祉サービスを支給決定するにあたり、原則、相談支援専門員が携わる体制となっています。

—相談支援とは—

地域の障害児者の福祉に関する各般の問題につき、障害者等、障害児の保護者又は障害者等の介護を行う者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行い、あわせてこれらの者と市町村及び第 29 条第 2 項に規定する指定障害福祉サービス事業者との連絡調整その他の厚生労働省令で定める便宜を総合的に供与する

—障害者総合支援法第 5 条 18 項より抜粋—

厚生労働省は、子どもと家族の地域福祉のコーディネータとして、相談支援専門員に対し大きな期待を寄せています。相談支援専門員が県内各地域で役割を遂行するには、相談支援事業が円滑にできる環境の整備も必要な状況です。

また、医療機関に所属する MSW から「相談支援専門員ってどのようなことができるのですか？」と拠点事業にも質問が寄せられています。

相談支援専門員が医療機関に所属する MSW と連携することは、子どもと家族の安心な在宅療養には必要不可欠な要素であると言われています。

そこで、拠点事業では 2 職種間の円滑な連携が県内各地域で促進されるよう、MSW と相談支援専門員のみを対象とした事業を計画しました。

医療的ケアのある子どもへの計画相談に関心をよせている相談支援専門員の方から現状の連携に課題を感じている MSW・相談支援専門員の方まで幅広く、皆様の参加をお待ちしております。

### 事業対象者

- ①県内で相談支援事業所に所属する相談支援専門員
- ②これから医療的ケアのある子どもに対する計画相談を実施する意向のある相談支援専門員
- ③中核生活支援センター職員
- ④県内の医療機関に所属し、小児の退院及び在宅支援を行っている MSW

募集人員 100 名

募集期限 9 月 31 日

## 事業目的

1. 今後、連携が期待される県内医療機関の MSW（以下 MSW と略す）と県内で医療的ケアのある子どもの相談支援事業を行う予定のある相談支援専門員が顔の見える関係性を構築し、各地域で双方の連携が進むよう事業を行う

## 会の到達目標

1. 地域で療養する子どもに対する相談支援専門員・MSW に期待される役割について意見交換を通じて相互に役割についての理解を深めることができる
2. MSW は、県内各地域において相談支援事業を行う事業所がどこであるかまた、所属する医療機関と連携の可能性がある地域の事業所の関係者とつながりを作ることができる
3. 相談支援専門員は、医療的な相談を医療機関に行いたい場合に各医療機関のどの部署に連絡・相談することが望ましいかを理解することができる
4. 相談支援専門員は、自身が活動する地域と連携している医療機関の MSW とつながりを作ることができる
5. MSW・相談支援専門員がそれぞれ支援を行う上で、現状やどのようなことに課題を感じているか相互に理解し、今後の連携に活かすことができる

**開催日時** 平成 26 年 10 月 31 日（金）10:00~17:00

受付時間 9:30~

**場所** 千葉県教育会館 501 号室

**持ち物** 名刺

## 内容

時間	内容
10:00~11:00	・医療的ケアのある子どもに対する相談支援事業の現状と課題 ・医療的ケアのある子どもと家族に期待される MSW と相談支援専門員の連携の在り方について — 昨年度千葉県内での議論を通じて抽出された役割期待を中心に — 事業専任者 谷口由紀子
11:00~11:10	休憩
11:10~12:10	・各地域についての意見交換及び名刺交換会
12:10~13:00	昼食時間
13:00~15:00	・グループワーク（各職種に分かれてグループを構成） ・MSW の医療的ケアのある子どもの退院支援の現状と課題 ファシリテータ 麒麟会 SW 吉橋准子
15:10~15:20	休憩
15:20~17:00	グループで話し合われた内容の共有 発表・質疑応答